

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

ネイティブハウス

グループの名称

新潟地域型住宅協議会

直近採択グループ番号

04-0488-0312

(グループ代表者)

代表者名

小松原 亮

代表者印

代表者所属先

松吉ワークス株式会社

代表者所在地

新潟県新潟市東区材木町1番58号

代表者電話番号

025-274-0644

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社M's構造設計

事務局担当者名

佐久間 孝之

印

事務局郵便番号

951-8061

事務局所在地

新潟県新潟市中央区西堀通3番町799番地 西堀カメリ

事務局電話番号

025-226-8118

事務局FAX

025-226-8117

事務局担当者E-mail

sakuma@ms-structure.co.jp



B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		14	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	14	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		9	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	6	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	4	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		6	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		2	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		3	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	4	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	0棟				
			0㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	希望申請枠への申込事業所を対象に「くじ引き」にて決定する。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	8戸	交付申請戸数	8戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	8戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	3戸	交付申請戸数	2戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	4戸	交付申請戸数	3戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ネイティブハウス	(地域型住宅供給対象地域) 新潟県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 新潟地域型住宅協議会	(結成年) 2012年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0488-0312	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・長寿命型においては耐震等級2を基本とする。耐震等級3を目標とする。計算方法は木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年度版)、(2017年度版)で検討をする。 ・会が発行する事前チェックリストにて、構成員がリストに記入後事務局へ提出し、事務局内において内容のチェックを行う。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・上下階の柱直下率を60%以上(枠組み壁工法を除く)、鉛直構面、水平構面、(地震力、風圧力)に対しての検定比は0.9以下とする。 ・偏心率は0.15を目標とする。(長寿命型)	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	地域材の現しを意匠に取り入れることを目標とする。(構造材、造作材どちらか、またはいずれも)	○
④①～③の背景	新潟県は南北に長く、海岸沿いや山間部、町屋、農村などの特徴が県内に点在する。年間曇日数全国7位、年間晴れ日数全国46位であり、夏の平均気温は東京と変わらない。地震や水害も多い地域である。森林の年間成長量は約89万立方メートル保有しており、県産材の普及が図られている。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・現場勉強会・プレカット工場見学等のスキルアップカリキュラム(勉強会)を開催し、知識を深め、技術向上を目指す。 ・平面計画において斜めプラン、中庭プラン、スキップフロアプランに関しては十分な検討を要する。 他平面計画において木造軸組工法住宅の許容応力度設計に記載されている平面不整形は許容応力度計算において分割計算を必ず検討する。(長寿命型)	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	柱は、原則として120角以上とする。	
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	ファイナンシャルプランナーとの提携による資金計画提案に対してのサポートを行う。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ネイティブハウス	(地域型住宅供給対象地域) 新潟県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 新潟地域型住宅協議会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0488-0312	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関による住宅履歴情報の蓄積を義務化。グループで作成した事前チェックリストに登録機	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「目視録」を活用し、物件の写真・報告書・図面などの住宅履歴を保管する。	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ作成の事前チェックリストに記入された第三者機関へ、住宅履歴情報の蓄積が行われてい	○
	② メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持保全計画書に標準メンテナンス時期と内容を記載し、基準を統一。	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持保全計画書に標準メンテナンス時期と内容を記載し、基準を統一。	◎
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持保全計画書に記載されている点検の時期に、チェックリストと写真を事務局へ提出する。	○
	③ 住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域ごとに担当流通建材店主催による消費者向けイベントを開催し、ネイティブハウスのアピール等を実施。	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅相談窓口の開設、ユーザー説明会の開催。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 会全体を「計画・実行・点検・改善」のネットワークで繋げ、会員からの報告、要望に対して技術室にて調査研究、運用に関する説明会を開催する。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: お引渡し時に、お手入れ方法を記載した「すまいの手引き」をエンドユーザーへお渡しし、周知させることにより、住宅の長寿命化を図る。	◎
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員向けの事業用保険を用意。	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: スキルアップカリキュラムにて、瑕疵内容の実例の周知を図る。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局主催にてスキルアップカリキュラムを開催する。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当グループ作成のチェックリストにて、品質が維持されているか施工事業者が確認を行う。	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記チェックリストを事務局に提出し、事務局にて書面による確認を行う。	◎
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2020年省エネ基準適合住宅の義務化に向けて、グループ全体の意識の向上をし、エンドユーザーへ	◎
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: STEP2(性能評価仕様)を標準仕様とする。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建築を学ぶ学生や見習い大工等、将来建築の担い手となる人達の人材育成の講座を開催。また工	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 33 今年度の参加目標人数 9	
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 1 今年度の参加目標人数 1	
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅省エネルギー技術講習会の地域事務局と連携を取り、開催スケジュールの周知徹底を図る。	○
c	① 新たな技術等の導入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新潟県産材を利用した応急仮設住宅の合理化工法の研究・開発を行う。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ネイティブハウス	(地域型住宅供給対象地域) 新潟県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 新潟地域型住宅協議会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0488-0312	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	<p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>・使用する地域材は越後杉、合法木材(国内、国外)を使用する。 ・主要構造材(柱、梁、桁、土台)に使用し、木拾い表、納品書兼証明書、地域材の証明書(合法証明合)にて確認する。 ・上記部位の過半に地域材を使用し、木拾い表、納品書兼証明書、地域材の証明書(合法証明合)にて確認する。</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p><input type="checkbox"/> 50%未満    <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上    <input type="checkbox"/> 80%以上</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>主要構造材    土台: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している                  柱: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している                  梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している                  羽柄材    間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している                  造作材    柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している                  板材    壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p> <p>・原木供給業者が海外の場合、本申請で必要とされる念書が入手不可能で、原木供給業者の登録を行っていない場合がある。                  ・合法木材の一部においては、産地、出荷者が多岐に渡り原木供給業者の特定が困難な場合があり、その場合は、製材・集成材・合板グループに所属する出荷者による合法性の証明によって代替する。                  ・施工事業者の一部において、手刻み加工を行うため、製材・集成材・合板メーカーから直接購入するなど、プレカット事業者を介さずに地域材の調達を行う場合がある。                  ・製材事業者から直接仕入れを行う場合など、地域材の特性に応じ、一部流通グループを介さずに地域材の調達を行う場合がある。</p>	◎
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない    <input type="checkbox"/> ある → 内容:</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない    <input type="checkbox"/> ある → 内容:</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>	
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>	
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 新潟県住生活基本計画を取り入れた提案を盛り込む様、スキルアップカリキュラムで構成員に周知を図る。</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 新潟県住生活基本計画を取り入れた提案を盛り込む様、スキルアップカリキュラムで構成員に周知を図る。</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない    <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		○

カ. その他		◎、○ 記入欄
【平成29年度対応方針】		
東日本大震災の復興に資する取組	福島県産の材を合法木材として扱い、ネイティブハウスで採用できるよう周知を図る。 福島に本社を置く事業者を構成員として登録する。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	熊本県産の材を合法木材として扱い、ネイティブハウスで採用できるよう周知を図る。 熊本に本社を置く事業者を構成員として登録する。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) ネイティブハウス	(地域型住宅供給対象地域) 新潟県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 新潟地域型住宅協議会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	04-0488-0312	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

- [認定低炭素住宅] 認定低炭素住宅認定基準値に準ずる性能とする。
- [性能向上計画認定住宅] 認定基準の水準に準ずる性能とする。
- [ゼロ・エネルギー住宅] H28省エネ基準を用いた評価とし、申請要件 (R0値を20%以上、R値を100%) 以上の性能とする。
- [優良建築物型] 認定低炭素建築物を取得する場合は水準を省エネ基準-15%以上とし、BELSを取得する場合は水準を★★★以上とする。CASBEEを取得する場合は水準をB+以上とする。